

⑥ 親切に助け合って仕事をする子ども

だれにも親切にし、弱い人や不幸な人をいたわる。友だちと仲よく助け合い、励まし合い、信頼し合い、協力して仕事ができるようにする。勤労・作業・奉仕などの実践を通して、親切や助け合いの心を育てる。

イ 努力事項と実践事項ー努力目標の⑤⑥

- 素直な感受性を大事にする。(道徳)
- 生活全体の中から、実践や思いやりを大事にする。(創意活動)
- 心情を豊かにする道徳教育や創意活動に心がける。(児童活動、道徳、創意活動)
- 児童活動を活発にし、奉仕活動を推進する。(児童活動一係活動・委員会活動)
- 自由活動を活発にし、協力の体験を積ませる。(学級の時間・玉造り・グループ活動)
- 勤労生産学習を推進し、協力実践の喜びをもたせる。(創意活動ー玉造り)

② 教育課程の編成方針

ア 編成の基本方針

- 人間性豊かな育成のため、教育活動全体において体験的活動を重視し、特に勤労生産学習との関連を図る。

イ 教育活動全体で行う道徳教育

ウ 以下省略

③ 日課表と活動の位置づけ

従来の日課表から特別大きく変更をしなくとも、勤労生産学習が進められるようにした。

ア 創意の時間 火曜日の6校時 「玉造りタイム」

イ 自由活動の時間 木曜日の6校時

ウ 自由活動 土曜日

エ 自主活動 月曜日の6校時

曜日	月	火	水	木	金	土
7:50 (出勤) (登校) 8:15	朝会	農具打合 清潔検査	1/2学級 指導	学級の 時間	農具打合 学級の時間	放送朝会
9:00	①	⑥	③	⑤	④	⑦
9:10	休息・準備					
9:55	②	⑦	⑤	⑥	④	⑧
10:10	休息					
10:20	準備					
11:05	③	⑧	⑤	⑥	④	⑨
11:15	休息・準備					
12:00	④	⑨	⑤	⑥	④	11:30 11:50 自由活動 準備会
12:40	給食					
12:50	休息・準備					
1:10	清掃					
1:20	休息・準備					
2:05	⑤	⑩	⑤	⑥	④	⑩
2:15	下校指導(整理・反省・計画)					下校
3:00	自主活動	創造時間 玉造り タイム	⑥	クラブ活動	自由活動	休息
3:05	下校					
3:50	休息					研修
4:20	学級事務	教材研究				職員会
4:35	休息					

④ 創意の時間(玉造りタイムのプログラム)

勤労生産学習(玉造り農園)年間活動計画案

月	農園活動	ね	ら	い
4月	・ジャガイモ植えつけ準備	・農園の活動計画をたてる。作付けの計画とうねつくりをする。	・クワなど農具を使用するので安全に注意して作業に取りかかる。	・ジャガイモやサトイモの植えつけの方法がわかる。
5月	・ジャガイモ、サトイモ植え	・作物を育てるには、いろいろな手入れが必要になってくる。	・農園作業を通して、いろいろな手入れの方法がわかる。	・ジャガイモの植えつけの方法がわかる。
6月	・イモ手入れ	・安全に気をつけて助け合って仕事をする。	・大豆のたねまきの方法がわかる。	・自分でできる仕事をこなすことができる。
7月	・畑作物の手入れ	・ジャガイモの収穫の方法、貯蔵のしかたがわかる。	・ジャガイモの収穫の方法、貯蔵などのしかたがわかる。	・(収穫のよさくびを味わうことができる。)
8月	・畑作物の手入れ	・除草や作物の手入れを協力し助け合って仕事をする。	・作物の種類によって、たねまき方、手入れのしかたにちがいが	
9月	・大根・白菜のたねまき	・大根や白菜のたねまきの方法や間引きのしかたがわかる。		
10月	・大根・白菜の手入れ	・安全に気をつけて大根や白菜の手入れ除草をする。		
11月	・いも煮(学校行事)11月14日	・サトイモの収穫の方法、貯蔵などのしかたがわかる。	・(農園で収穫した野菜を利用、楽しく食することができる。)	・協力して仕事を進めることができる。
12月	・収穫祭(学校行事)11月29日	・自然の恵みに感謝するとともに収穫のよさくびを味わう。	・自然の恵みに感謝するとともに収穫のよさくびを味わう。	・仕事のしるしを大切にしよう。
1月	・野菜の取り入れ	・自然のお話になっている人に感謝や尊敬の心を持つことができ		
2月	・たい肥つくり	・作物のよさくびと収穫のよさくびを味わう。	・生活のよさくびと収穫のよさくびを味わう。	・作業が成るためには、良土をつくる必要があることがわかる。
3月	・いも煮(節分)	・(農園で収穫した大根や白菜を美味しく食べたい。		
計	・農園整理	・一年間お世話になった農園に感謝しながら農園のせいり、農具のせいりせいとんをする。		

⑤ 玉造り農園活動計画案

- 玉造り農園活動計画案 大野一小
- 活動名 ジャガイモの植えつけ
 - 実施期日 昭和60年4月18日(休) 第2校時~第3校時
 - 活動の目標
 - ジャガイモの植えつけの方法を知り、みんなで協力して仕事することにより、働く喜びを味わうことができる。
 - 活動を通して、豊かな人間関係を深めることができる。
 - クワ等農具を使用するので、安全に気をつけて作業する。
 - 勤労生産学習の目標
 - 上に頼りなく働くよさを知る子ども
 - 安全に気をつけて助け合いながら仕事をする子ども
 - 人々のふれあいを大切にする子ども
 - 準備
 - クワ、一輪車、台ばり、セモ、記録簿
 - 作業の方法および内容
 - 畑のうねつくり
 - たい肥をいれる
 - ジャガイモを植える
 - 目録と個数をかぞえる
 - 土をかぶせる
 - 作業用具をかたづけ
 - 日 程
 - 9時10分~9時20分 全体指導
 - 9時20分~9時25分 移動
 - 9時30分~9時50分 事前指導
 - 9時50分~10時30分 活動
 - 10時30分~10時55分 事後指導および移動
 - 各学年(低・中・高)の目標

	低 学 年	中 学 年	高 学 年
作 業	・ジャガイモの植えつけの方法がわかり、自分でできる仕事を進んでいく。	・作業の方法や手順を覚えていく。	・作業の方法や手順を覚えていく。
安 全	・上級生の話をよく聞き、相談して仕事をする。	・用具の扱い方に注意して、安全に仕事を進める。	・常に周囲に気をくばり、安全の確認しながら仕事をする。
態 度	・友だちと仲良くして仕事を進める。	・上級生に協力するとともに、下級生の面倒をみるようにする。	・上級生としての役割を自覚し、グループ内で助け合いながら仕事をすすめる。

事前指導、活動、事後指導は省略